

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

の 議会ゆがわら

平成30年5月

No.106

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>
湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

編集/発行 湯河原町議会
〒259-0392
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1
TEL0465-63-2111(代) FAX0465-63-9674



初夏の幕山公園

3月
定例会

2/14~3/5

4月
臨時会

4/3~4/5

● 主な内容 ●	正副議長あいさつ	2
	平成30年度予算	3
	代表質問	4
	一般質問	5
	委員会だより	8
	審議と賛否	10
	新しい委員会構成	12

議長就任挨拶



第42代議長

露木 寿雄

議長就任に当たりまして、一言「あいさつ」を申し上げます。

このたび私は、議員の皆様方のご推挙によりまして、湯河原町議会議長の要職を賜りました。

ここに謹んで御礼申し上げます。

改めて、その責任の重さが今ひしひしと感じておりますが、微力ながら最善を尽くして職務の遂行にまい進いたすべく、心をあらたに、身の引き締まる思いでいっばいでございます。

さて、私たち湯河原町を取り巻く環境は、近隣市町との広域行政の問題や、県下でも

最も高い状況にある超高齢化社会への対応、また人口減少に歯止めをかけるべき対策等、多くの重要課題が山積しております。

議会といたしましては、議会と行政が二元代表制のもと、お互いに知恵を出し合いながら、住民の皆様方が「湯河原町に住んで良かった」と思えるようなまちづくりの実現に向けて努力してまいる所存でございます。

また、議会の運営につきましては、透明性の高い開かれた議会、そして、町民の皆様方に親しまれる議会となりましよう、誠心誠意努力するとともに、私どもの最高規範であります議会基本条例の理念に基づき、全力で取り組んでいく決意でございます。

理事者各位はもとより、これからの円滑な議事運営に、皆様方のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。

副議長就任挨拶



第37代副議長

村瀬 公大

このたび、議員皆様方のご推挙によりまして、湯河原町議会副議長の大役を仰せつかりました村瀬公大でございます。

身に余る光栄と存じますとともに、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

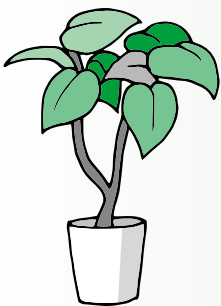
現在、湯河原町を取り巻く環境は、人口減少はもとより、少子高齢化が顕著となり、さらに多様化する町民ニーズへの対応といった課題がある反面、観光立町推進のための駅前広場整備事業や湯元通り街なみ環境整備事業など湯河原町ならではの特色を

活かしたまちづくりが進められております。

そのような中であって、町民の代表機関としての自治体の最終意思決定を預かる議会の役割と責任は、今後ますます重くなるものと認識しております。

私は、露木議長をしつかりとお支えし、先輩・同僚議員の皆様方のご協力をいただきながら、湯河原町議会基本条例に基づき、公正、かつ円滑な議会運営がなされるよう、また、さらなる町の発展のために、粉骨砕身の覚悟で職務に取り組んでまいります。

皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、切にお願い申し上げますが、副議長就任の挨拶とさせていただきます。



(正副議長就任日 平成30年4月3日)

4月臨時会

(4/3~5)

平成30年第2回湯河原町議会4月臨時会は、4月3日から4月5日までの3日間(本会議開催2日間)にわたり開催されました。

この臨時会では、専決処分承認、工事請負変更契約の締結、人事の議案3件を審議したほか、正副議長選挙と常任・特別委員会等の委員の選任を行い、委員会構成が変更されました。

町議会議員から選出する湯河原町監査委員に山本俊明議員を選出することに同意しました。(4月5日就任)

また、湯河原町・真鶴町衛生組合議会議員として、山本俊明、村瀬公大、土屋誠一、室伏重孝、露木寿雄議員の5人を選出しました。

3月定例会

平成30年第1回湯河原町議会3月定例会は、2月14日から3月5日までの20日間(本会議開催4日間)にわたり開催されました。

この定例会では、平成30年度当初予算をはじめ、条例、補正予算など議案32件のほか、議員提出議案1件を審議しました。

平成30年度予算が決まりました

平成30年度の各会計予算の審査は、予算審査特別委員会に付託されました。

予算審査特別委員会 3月1日・2日開催

一般会計、特別会計及び公営企業会計予算は、歳入・歳出の内容や事業の目的とその効果等について、質疑応答を行いました。

2日間にわたる慎重な審査の結果、指摘事項及び要望事項を付し、すべての会計の予算は原案の

とおり可決することに決定しました。

予算審査特別委員会からの指摘事項

平成30年6月議会定例会までに歳入予算のうち13款1項6目2節(仮称)防災コミュニティセンター使用料を削除し、併せて歳出予算のうち8款2項3目(仮称)防災コミュニティセンター費を見直すこと。

予算審査特別委員会からの要望事項

平成30年度会計別予算額

会計名	平成30年度(A)	平成29年度(B)	比較			
			増減額(A)-(B)	前年度比(A)/(B)%		
一般会計	98億1,100万円	96億9,000万円	1億2,100万円	101.25%		
特別会計	国民健康保険事業	43億1,000万円	△5億2,300万円	87.87%		
	介護	保険事業勘定	25億1,700万円	23億8,800万円	1億2,900万円	105.40%
	介護サービス事業勘定	1,280万円	1,320万円	△40万円	96.97%	
	後期高齢者医療	4億3,300万円	4億円	3,300万円	108.25%	
企業会計	水道事業	6億7,700万円	8億3,700万円	△1億6,000万円	80.88%	
	温泉事業	2億9,500万円	2億7,300万円	2,200万円	108.06%	
	下水道事業	18億1,716万円	19億9,649万円	△1億7,933万円	91.02%	
合計	193億4,996万円	199億769万円	△5億5,773万円	97.20%		

(備考) 企業会計は、収益的支出と資本的支出の合算額を予算規模として表示しています。

今後、予算の編成に当たっては、関係法令等を遵守することはもとより、行政内部における連絡・調整を密に行い、予算計上の錯誤がないよう強く求める。

(委員長) 室伏寿美夫
(副委員長) 原田 洋
(委員) 並木まり子
松井 一寿
善本 真人
村瀬 公大
石井 温

代表質問

施政方針に対する 各会派の代表質問

町議会HP
会議録



公 明 党

所属議員 佐藤 恵

質問者 **善本真人議員**

Q 公共交通施策として、一部地域においては、コミュニティバス運行事業を展開していますが、その利用度や採算性について、お聞かせ下さい。

また交通不便地域解消のために、平成25年12月議会で公明党として質問させていただいた後、平成27年度当初予算に、50万円、平成29年度に

326万円計上され、現在、「湯河原町地域公共交通会議」や「湯河原町地域公共交通意見交換会」を開催しておりますが、交通不便地域に対して、どのような対策を検討しているのかお聞かせください。

A 平成27年度に交通不便地域の皆様を対象にアンケート調査を実施し、平成28年度には公共交通利用者や交通事業者に参画いただき「湯河原町地域公共交通会議」を設置し、その結果、運行方式を乗降ポイントから目的地的間を直接運行する「デマンド型交通」とし、「温泉場」、「オレンジライン」、「鍛冶屋」、「福浦」での実証運行の実施につきまして、承認をいただきました。

Q 小学校においては、小学年に外国語活動、高学年に外国語科が導入され2020年度から全面実施されます。外国語活動においては、

音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、「コミュニケーション能力の素地を養う事が目標です。小学校における外国語教育の早期化・教科化を受けて、どのように対応されるのかお聞かせください。

A 本町では、平成30年度は小学校3・4年生では年間15時間を、5・6年生も、現在の授業数に年間15時間加えた年間50時間の授業を、新たな外国語指導助手を配置し、実施したいと考えております。

湯 政 研

所属議員 松井 一寿
石倉 幸久
室伏寿美夫
村瀬 公大

質問者 **山本俊明議員**

Q 観光情報発信の強化として、SNSや各種媒体を活用した広報を進め、季節に合わせた最新の観光情報を提供するとありますが、具体的にはどのような国の観光客をターゲットとしていくのでしょうか。

A 本町には20室以下の旅館が多く、近隣の熱海や箱根のような大規模な温泉地とは、おのずとインバウンド戦略は異なってくるかと考えております。その一例として、日本に対する慕情を持ち、一方で欧米人の感覚を共有する日系人をターゲットとし、比較的日本人

近いハワイでのトップセールスを通じて誘客を図っており、平成29年度は、ホノルル日系人青年商工会議所とハワイ日本文化センターの2団体が訪町し、ご宿泊していただくなど、一定の手ごたえを感じております。

近年、本町にも、外国人観光客にターゲットを絞り込んだ、新しいスタイルの旅館が参入しておりますので、様々な料金体系の旅館が各々の特徴を活かし、切磋琢磨しながら、幅広い選択肢をご用意する中で、湯河原温泉を選んでいただけよう、今後、外国人に向けたインバウンド観光情報の発信に当たりましては、検討しております。

Q 高齢者の安心とついで、

緊急通報体制等整備事業とありますが、どのような体制、仕組みになっているのでしょうか。

A

緊急通報体制等整備

事業につきましては、80歳以上の一人暮らしの高齢者、または65歳以上の慢性疾患をお持ちの高齢者を対象に、申請により、ペンダント型無線発信機などの緊急通報システムを貸与し、自宅での急病や事故など緊急時の連絡体制を確保することを目的として実施しており、利用者が緊急時にボタンを押すことで、電話回線を通じて、24時間体制の安心センターに自動通報され、状況に応じて、必要な対応・支援を行うものがございます。

なお、設置・貸与費用等に対する個人負担はございません。

協創会

所属議員

石井 温
露木 寿雄
原田 洋

質問者 室伏重孝議員

Q

国民健康保険の制度改革により、平成30年4月

1日から、これまで町が運営してきた、国民健康保険の財政主体を県が担うことになり、町は引き続き、国民健康保険の資格管理、保険給付、保険料の決定、賦課・徴収、保険事業等の業務を行うことになると伺いました。本町では、平成25年度に国民健康保険料を平均18.9%引き上げましたが、その後、徴収率の向上や医療費の抑制に積極的に努めた結果、平成29年度は保険料を平均6%引き下げることができました。平成30年度の保険料につきましては、さらに大幅に、10~15%の引き下げを検討しているとの

ことですが、引き下げは、運営準備基金積立金を取り崩して行うのでしょうか。あるいは、基金の取り崩しを行わずに、引き下げは可能なのでしょうか。

A

制度改革に当たり、

県内の統一の方針として策定された「神奈川県国民健康保険運営方針」では、決算補填等を目的とした法定外繰入金は、計画的、段階的に削減すべき費用であるとされており、

本町では、これまで法定外繰入を行っておりませんので、制度改革による国からの国民健康保険への財政支援の拡充につきましては、法定外繰入金削減に充てる必要がないため、財政支援の拡充分を国民健康保険料に充てることで、運営準備基金積立金の取

り崩しはせず、国民健康保険料の引き下げが行えるものがございます。

また、全国的に一人当たり医療費が増加傾向にある中、本町において、思い切った保険料の引き下げを行うことができませんのは、これまで積み立ててまいりました、運営準備基金の存在がでございます。運営準備基金は、必要と判断された場合に活用することができ、保険料の激変緩和や年度間の平準化に対応できるものがございます。



一般質問

町議会HP
会議録



新たな公共交通システム
実証運行計画(案)について



今年1月、3
回にわたって第
2回湯河原町
地域公共交通
意見交換会が
開かれました。
意見交換会で
は、2018年度に実施
を予定している新たな公
共交通運行計画(案)が町
から説明され、出席者か
らも多くの発言がありま
した。日本共産党湯河原
支部が行ったアンケート
にも交通手段確保に関し
て81人の方から要望をい
ただきました。交通不便
地域の住民の要望を活か

した実証計画をより充実させ、着実な実施を願っております。

①10月から実証運行予定の4つの運行エリアに城堀エリアを加える方向での検討・実施を。

②コミュニティバスの拡充を2021年からではなく速やかに実施できないか。

③乗り継ぎ拠点の機能強化(時間・運賃)の検討及び有料フリーパス制度の導入を。

A

①デマンド型交通の運行エリアについては、実証運行を予定していない地域にもご意見をきき、「交通会議」にお諮りし、実施エリアや運行方法の見直しについて協議してまいります。

②コミュニティバスの運行改善については、町の財政負担や道路の幅員等の地域特性を考慮し、慎重に検討してまいります。

③現状では有料フリーパス制度の優先度は低いものと考えています。

Q 温泉利用の充実について

湯河原町の高齢化率は高く、高齢者が元気にこの町で暮らしていくことは重要課題です。温泉を求めて移住された方々からも「温

泉があるのにあまり利用できない等の声があがっています。町営のご湯は駅周辺からも遠く、現在駅近の旅館を月4回、1回400円で65歳以上の方等が利用できることになっていますが、高齢者の健康増進を考慮して温泉利用の充実が必要と考え、お伺いします。

①2016年と2017年の利用者数はどのくらいか。

②料金を200円にし、

月ではなく年間100回に拡大できないか。

A ①2016年は延べ5,097人、2017年は延べ3,744人。減少した原因は利用時間が短くなったためと考えられます。

②温泉利用についての特段の意見や要望はなかったものと認識しており見直しは考えていません。

Q 本町における観光PRについて



石井 温議員

I-T化が進み、スマートフォン上の爆発的な進化により、観光地を訪れる際に、端末を持ち

ち歩けるようになりました。SNSの発達で、景観や食事などを一般の方々が発信する時代に突入しています。そのよう

な中、本町でもさらなるPR活動が必要ではないかと思えます。

①近年、空撮で話題になっているドローンですが、ヘリコプターなどの空撮より、安価に行うことができると思います。本町でも、ドローンを導入していくお考えがあるかお聞かせください。

②パワースポットの事業も1年経過しましたが、検証結果と、その結果を踏まえ、パワースポットのさらなる増設について、お考えがあるのかどうか、お聞かせください。

A ①平成29年3月に実施した、ハワイでの日系人を対象としたトップセールスでは、ドローンで撮影した、湯河原梅林や湯河原の空撮を含んだ全編英語の湯河原温泉プロモーション映像を使用し、プレゼンテーションいたしました。

また、イタリアのティヴォリ市との友好親善都市提携で訪問した際にも、湯河原の空撮動画を活用した他、旅行雑誌記者や報道関係者を対象とした観光広報推進事業や、全国梅サミットなどの取材依頼の際にも、PR用の映像として活用しております。また、現在、湯河原温泉観光協会や湯河原温泉旅館協同組合、湯河原町商工会、町観光課がそれぞれに発信している観光情報を統一した、SNSユーザーを重視した、ポータルサイトの立ち上げを準備しておりますので、その中でも、専門業者に委託し、ドローンを活用した動画の掲載を考えております。

②パワースポットにつきましては、平成28年度に五所神社の「楠木」、城願寺の「柏楨」、幕山の「幕岩」を3つのパワー

Q 子育て支援と定住化の推進について

湯河原町で安心して子どもを、産み育てることができ環境を整備しながら、若い世代



佐藤 恵議員

スポットとして位置付けました。この3か所には、フォトポイントのオブジェを設置し、インスタグラムなどのSNSにアップすると、オリジナルのパワーグッズを差し上げるなどの事業を実施し、好評を得たところです。こうしたことから、現在、万葉集にも詠われた湯河原温泉発祥の地であり、潜在的な観光資源の豊かな温泉場地区に、インバウンドを意識した新たなストーリー性を持つパワースポットの増設を検討しております。

の転出を防ぎ、転入と定住のさらなる促進を促す方策が必要と考えます。そこで伺いたいします。①今後の子育て世帯に対するの応援と、人口減少対策のため、三世帯同居等を推進する施策の展開について
②三世帯同居等を検討している世帯の後押しをするため、町として補助金制度を創設することについて
A ①三世帯同居は子育てや介護、あるいは家族間での生活を支え合うなど、大切な家族の仕組みの一つと捉えております。祖父母と孫との交流は、両親が与えるものとは別の広い世代間の繋がりの中で、昔の知恵や思いやりの心を伝えるという点では、大きな教育的意義を持つものと考えます。子育て支援のみではなく、高齢者の生きがいや多世

Q いじめ防止対策の推進について

文部科学省によると2016年度に全国で32万3,800件のいじめが認知されています。各自治体でも種々対応を講じていますが、それでもいじめ



代の安心の確保など様々な効果が期待でき、また地域の活性化にも寄与すると考えます。湯河原町まちひと・しごと創生総合戦略プランと絡めながら研究してまいります。②過去の事業実績を検証しながら、また他市町村の事例を参考にして本町に見合った定住対策となる制度の創設について研究してまいります。

を早期に発見するには十分とは言えません。そこで、SNS等のアプリを活用した、いじめに関する相談体制の導入について伺いたいします。A SNSのアプリを利用した、いじめなどの相談については、長野県において試験的に導入した際、想定以上の利用者があり、いじめ防止に対して一定の効果が受けられるとの報道があったほか、神奈川県においてもSNSを活用したいじめ相談の実施について検討していくとの方向性が示されています。本町におきましても現在の相談体制を維持しつつ、SNSの特性を生かした相談体制について、今後、神奈川県との検討状況を踏まえ、検討してまいります。

議会報告会を開催します

テーマ：『平成30年度予算の審議内容について』『今後の主要事業について』

日時 平成30年7月4日(水) 午後7時から

会場 役場第2庁舎3階会議室

※議会報告会終了後に参加者と議員による自由な意見交換会を開催します。



平成29年7月6日 湯河原町役場で開催した議会報告会の様子

進んでいる広域行政の事

(2月26日開催)

広域行政 特別委員会



線について
黄金松農道との擦り付けについて、県が改修を行い、擦り付け部分の道路勾配を現状より小さくし、安全上の対策を行うこと、また広域農道の雨水排水について、既存排水施設に接続し新崎川に排水するが、既存施設の流下能力を超える箇所については県が改修等を行うことで合意が整ったこととの報告を受けました。

催の本特別委員会での要

(2月20日開催)

公の施設等整備 調査特別委員会

湯河原町と真鶴町で進んでいる広域行政の事業うち、水道事業に関する協定について、平成30年3月末を目標に見直しを進めてきたが、両町の意見が異なり、協議が整っていないため、協議が整い協定内容が見直されるまでの間は、現協定内容が維持されることの報告を受けました。

業のうち、現在協議を進めている、し尿等の共同処理について、昨年中に3回開催された、し尿処理専門部会での検討経過について報告を受けました。

(3月26日開催)

た。

(3月26日開催)

町税等徴収対策 強化特別委員会

平成29年度1月末における町税等の収納状況や滞納繰越分の状況について報告を受け、今後の具体的な徴収対策の強化方法等について審議しました。

請を受け、各区と調整し現段階での要望を反映させた方針案が示され、会館ごとに説明を受け、審議しました。今回の方針案では、会館の統廃合は行わず、全拠点維持とするが会館によっては当面現状維持を希望するもの、解体し木造で建替えを希望するもの、津波浸水域のため移転・建替えを希望するものなど様々であり、今後は方針案に沿った形で優先順位を付け事業化へ向け進めていくべきとの意見がありました。

補正予算が決まりました

【平成30年3月定例会】

会計名・補正額	概要	要
一般会計 (第6号) (2億1,939万8,000円の増額)	まちづくり寄附金推進事業費の増額 国民健康保険事業特別会計繰出金の減額 介護保険事業特別会計繰出金の増額 後期高齢者医療費の減額 防災基金積立金の増額 など	
一般会計 (第7号) (1億310万円の増額)	(仮称) 防災コミュニティセンター整備事業費の増額	
国民健康保険事業特別会計 (第4号) (5,608万2,000円の減額)	後期高齢者支援金の減額 運営準備基金積立金の増額など	
介護保険事業特別会計 (第3号)	≪保険事業助定≫ (18万9,000円の減額)	町村情報システム共同化事業運営費負担金の増額 生活支援体制整備事業費の減額 など
	≪介護サービス事業助定≫ (増減なし)	職員人件費の増額 職員人件費の増額に伴う予備費の減額
後期高齢者医療特別会計 (第3号) (672万8,000円の減額)	後期高齢者医療広域連合納付金の減額	
水道事業会計 (第2号) (増減なし)	賃借料の減額 予備費の増額	

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対を表しています。

(平成30年3月定例会)

議案番号	議案名	議員名													審議結果	採決日
		並木まり子	松井一寿	石倉幸久	善本真人	佐藤 恵	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	石井 温	露木寿雄	室伏重孝	原田 洋	松野 満		
1	湯河原町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
2	湯河原町機能別消防団員の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
3	湯河原町職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
4	湯河原町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
5	湯河原町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
6	湯河原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
7	湯河原町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
8	湯河原町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
9	湯河原町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
10	湯河原町観光地区建築条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
11	湯河原町駅前広場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
12	湯河原町都市公園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
13	湯河原町公営企業の設定等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
14	湯河原町臨時的任用職員及び非常勤職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	可決	2/14
15	湯河原町火災予防条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	可決	2/14
16	湯河原町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	可決	2/14
17	平成29年度湯河原町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
18	平成29年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
19	平成29年度湯河原町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
20	平成29年度湯河原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
21	平成29年度湯河原町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14
22	平成30年度湯河原町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
23	平成30年度湯河原町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
24	平成30年度湯河原町介護保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
25	平成30年度湯河原町後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
26	平成30年度湯河原町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
27	平成30年度湯河原町温泉事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
28	平成30年度湯河原町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
29	湯河原町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	3/5
30	湯河原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
31	湯河原町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
32	平成29年度湯河原町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3/5
議員提出 第1号	湯河原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2/14

(平成30年4月臨時会)

議案番号	議案名	議員名													採決日
		並木まり子	松井一寿	石倉幸久	善本真人	佐藤 恵	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	石井 温	土屋誠一	室伏重孝	原田 洋	松野 満	
33	専決処分の承認について(湯河原町国民健康保険条例の一部改正について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	4/5
34	工事請負変更契約の締結について((仮称)防災コミュニティセンター整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	4/5
35	湯河原町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	同意	4/5

※除斥：本人に関する議案のため、採決に加わるできません。

主な条例の 制定・改正



●湯河原町機能別消防団員の設置に伴う関係条例の整備に関する条例(制定)

湯河原町消防団に機能別団員制度を導入することに伴い、関係する条例を整備するため、条例を制定しました。

●湯河原町職員給与に関する条例等(一部改正)

人事院勧告に基づき国家公務員の給与等が改正されたことに伴い、これに準じて町職員の給与等を改定するため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町常勤の特別職職員の給与に関する条例(一部改正)

人事院勧告に基づき国家公務員の給与と改定に準

人事院勧告に基づく国家公務員の給与と改定に準

じ、一般職職員の給与改定を行うことを踏まえ、特別職職員の給与改定を行うため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町介護保険条例(一部改正)

平成30年度から3年間の第7期介護保険事業計画の策定に伴い、計画期間中の介護保険料を改定するため、条例の一部を改正しました。改定後の保険料の基準額は年額56,400円となり、改定前と比較すると約4.4%の増となります。

●湯河原町後期高齢者医療に関する条例(一部改正)

高齢者の医療の確保に関する法律の改正に伴い、被保険者の※住所地特例の見直し及び平成20年度に被扶養者であった被保険者の保険料の特例措置が終了するため、条例の一部を改正しました。

※住所地特例とは・・・社

会保険制度において、被保険者が住所地以外の市区町村に所在する介護保険施設等に入所又は入居をすることで施設等の所在市区町村に住所を変更した場合、住所を移す前の市区町村が引き続き保険者となる特例措置のこと。

●湯河原町火災予防条例(一部改正)

重大な消防法令違反のある防火対象物について、利用者等に建物の危険性に関する情報を公表するため、条例の一部を改正しました。

議員提出議案

●湯河原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例(一部改正)

人事院勧告に基づき国家公務員の期末勤勉手当の支給割合が改正されたことに伴い、町職員同支給割合を改正することを踏まえ、町議会議員の期末手当の支給割合を引き上げるため、条例を改正しました。

人事院勧告に基づき国家公務員の期末勤勉手当の支給割合が改正されたことに伴い、町職員同支給割合を改正することを踏まえ、町議会議員の期末手当の支給割合を引き上げるため、条例を改正しました。

人事案件

●湯河原町教育委員会教育長の任命について

高橋正さんの任期が平成30年3月31日で満了となるため、引き続き高橋さんを教育委員会教育長に任命することに同意しました。

任期は2021年3月31日までです。

専決処分の承認

●湯河原町国民健康保険条例(一部改正)

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の賦課総額、軽減判定所得の算定方法及び保険料の基礎賦課限度額の引上げについて改めるため、条例の一部改正を専決処分したことに

報告を受け、承認しました。

委員会構成が変わりました

(平成30年4月5日現在)

◎委員長 ○副委員長



議会運営委員会

議会運営委員会 (写真上段)

- ◎室伏 重孝 ○松井 一寿
- 佐藤 恵 室伏寿美夫 山本 俊明
- 村瀬 公大 土屋 誠一

総務文教・福祉常任委員会 (写真中段)

- ◎室伏寿美夫 ○善本 真人
- 並木まり子 松井 一寿 原田 洋
- 松野 満 露木 寿雄

環境・観光産業常任委員会 (写真下段)

- ◎佐藤 恵 ○石井 温
- 石倉 幸久 山本 俊明 村瀬 公大
- 土屋 誠一 室伏 重孝

広域行政特別委員会

- ◎土屋 誠一 ○山本 俊明
- 松井 一寿 石倉 幸久 善本 真人
- 室伏 重孝 松野 満

議会だより編集委員会

- ◎佐藤 恵 ○石井 温
- 並木まり子 松井 一寿 室伏寿美夫
- 原田 洋

町税等徴収対策強化特別委員会

- ◎原田 洋 ○石倉 幸久
- 並木まり子 善本 真人 佐藤 恵
- 石井 温 松野 満

公の施設等整備調査特別委員会

- ◎室伏 重孝 ○善本 真人
- 石倉 幸久 室伏寿美夫 石井 温
- 原田 洋 松野 満



総務文教・福祉常任委員会



環境・観光産業常任委員会

傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます。
 (本会議の傍聴は、先着20名、委員会の傍聴は、先着6名です。)

【受付】開催日の午前9時から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

6月議会日程

- 6月7日(木) 午前 本会議(一般質問等)
- 8日(金) 午前 本会議(条例・補正予算等)
- 13日(水) 午前 環境・観光産業常任委員会
- 18日(月) 午前 総務文教・福祉常任委員会
- 21日(木) 午前 本会議(委員(長報告等))

【午前は10時の予定です。】

編集後記

やっと寒い冬から暖かい春へ!!
 すべてが新しい息吹に包まれる4月。
 議会だより編集委員会のメンバーも新しくなり、このメンバーで2年間頑張ってきました。
 これからも町民の方々が紙面の中から少しでも議会のことを知っていただけるように委員6名、事務局で知恵を絞ってまいりますのでよろしくお願いたします。
 (佐藤 恵 記)

議会だより編集委員会

- 委員長 佐藤 恵
- 副委員長 石井 温
- 委員 並木まり子 松井 一寿
- 室伏寿美夫 原田 洋